

## IT21 の会 (平成 20 年 2 月) 第 117 回議事録

日 時 : 平成 20 年 2 月 8 日 (金) 18 時 30 分 ~ 20 時 40 分

場 所 : 日本技術士会 葺手第二ビル 5 階 C・D 会議室

出席者 : 21 名

### 配布資料

- ・ 0802-1 IT21 の会 2 月例会のご案内 (石井 利教 氏)
- ・ 0802-2 インターネットの広がり と IX (石井 利教 氏)
- ・ 0802-3 IT21 の会 KAIZEN-WG スケジュール表ほか (加納 幸博 氏)
- ・ 0802-4 川崎に M6.3 の地震はくるか? KK 地震予報@川崎について (犬伏 裕之 氏)
- ・ 0802-5 CPD 行事参加票 (出席図)

### 議 事

1. 議事および資料確認 廣瀬 由紀 氏
2. 事務連絡 廣瀬 由紀 氏

WG と PG の整理を行った。 / 4 月以降, 例会幹事未定である。 / 今月任期切れの ML 委員の後任を募集中。 / 広報委員が平成 19 年度技術士第一次試験合格者歓迎会(平成 20 年 1 月 26 日)で IT21 の会のパネル展示と, 会員勧誘を行った。
3. IT21 の会 ML, ホームページ (HP) 改善進捗経緯について 加納 幸博 氏

表題につき, 当面のスケジュール {線表 (バーチャート)} とともに説明がなされた。大きく 4 つに分けて捉え, まず, 改善しようとのきっかけであった, ML 関連を優先し, 次いで, 名簿関連, さらに, HP 関連, グループウェア関連で進めるものとしている。また, 2 月 1 日から開始した ML の小規模テストにつき現時点で採取した問題点について説明があり, テスターが予定人数割れのため, 積極的な参加を呼びかけた。
4. インターネットの広がり と IX 石井 利教 氏
  - (1) インターネット接続と BGP  
インターネットとは, IP ネットワークの集合体であり, 各者が管理しているネットワーク同士が結びついていることである。このネットワークは自律ネットワーク (AS: Autonomous System) 同士の結びつきといえる。通常, ネットワーク間のプロトコルは BGP (Border Gateway Protocol) であり, これは, AS 間の最適な接続先の選定に用いられる。すべての経路に到達できることは高価であり, 必要としないために, また, 合理的でないために, IX (Internet Exchange) という相互接続点が有意義となる。
  - (2) IX (IXP) (Internet eXchange Point) とは  
ISP 間の相互接続点であり 物理的なネットワークである。ISP 間を逐一結ぶ場合に比べ, 1 本のケーブルで済むため, きわめて経済的である。ISP が参加するためには明確でオープンなポリシー (複数の経路がある場合の転送の方針) がなければならない。日本で IX というほとんど Layer2 IX (ほとんど Ethernet ベース) をさす。
  - (3) IX の現状 (日本)  
代表的な IX は JPNAP (トラフィック数世界 4 位), JPIX, DIX-IE の 3 社であり, トラフィックの約 1/4 (総務省推定) はこの 3 社を経由する。
  - (4) IX の障害対策 (耐障害性)  
IX の主な障害対策は, 拠点分散, 局所化, 冗長化, バックアップである。拠点分散は, 場所を変えることで障害の波及を防ぐことである。局所化は, 障害箇所を切り離すことで他の大部分を障害から守ることである。冗長化は, 可能な中継路の中で切り替えることである。バックアップは, バックアップ系を用意しておき, 切り替えることである。
  - (5) 結び  
トラフィックが増えるにつれて IX の重要度が増えており, 信頼性の高いネットワークの構築・運用が重要である。
5. KAIZEN-WG プロトタイプデモンストレーション & ディスカッション 加納 幸博 氏

XOOPS + OpenPNE 試行環境の中で, SNS サイトに関するデモンストレーションが行われた。IT21 の会 ML, HP 改善の一環として, 現行の HP の利用との違い, 何が充実なのかなどについて, KAIZEN-WG で検討することとなった。また, デモを体験した例会参加者に, 上記の相違点を明記したテスト参加案内を送付し, 改めてテスターを募ることとなった。
6. 川崎に M6.3 の地震はくるか? 犬伏 裕之 氏

ブラジルの予言者ジュセリーノ氏は著書で「08 年 2 月 15 日 ~ 28 日 M6.3 (川崎)」と記載している。これについて地震の発生状況から比較的大きな地震の兆候がでているかを調査した。その結果「08 年 2 月 15 日 ~ 28 日 M6.3 (川崎)」は実現しないものと考えられる。
7. 初参加 4 氏の自己紹介が行われた (滝口 亨, 古泉 聡洋, 田中 瑛一, 佐野 庄一, 各氏) 以上 (記載者: 西垣 栄)